

オンラインによる国際シンポジウムが開催された

2021年12月29日(水)に日韓間国際シンポジウム「地域産業のイノベーション：大学の役割と産学連携」と題した国際シンポジウムが韓国 Hanbat 大学で開催されました。

今年は新潟大学中小企業ナレッジネットワークセンターと共同で開催し、「地方創生」というテーマのもと、国際シンポジウムでは2部構成で両大学の研究者による発表がありました。韓国 Hanbat 大学の学長による国際シンポジウム開催の挨拶後、第1部では、Yasuyuki KISHI (Associate Professor /Vice Director of Sakeology Center,NU)「The future of the region pioneered by the Niigata University “Sakeology”-Building a regional innovation ecosystem through Industry, local government, and academia collaboration -」、Jong-in Choi (Professor / Vice President of HBNU and Head of Industry-University Cooperation Foundation) 「Industry-University-Research Cooperation and Local Job Creation Plan」のそれぞれの発表がありました。その後のディスカッションには、Duk-wi Ryu (Professor, HBNU)、Junbyung Park (Professor, HBNU)、Bok-hyun Cho (Professor, HBNU)、Masaki NAKAHIGASHI (Associate Professor, NU)、Ryoji ITO (Associate Professor, NU)、Ju-young Song (CEO, Business Intelligence Zone)がそれぞれ加わり、学者・聴講者間における活発的な議論が交わされることとなりました。

上記の2つの研究テーマが提案されたあと、第2部では共同研究の可能性を探り、2つの大学の関係を強化するセッションとして設けられました。具体的には、Gunyoung LEE (Specially Appointed Professor, ,NU) 「Explanation of the background and purpose of the joint research agenda proposal」、Satoshi ARIMOTO (Associate Professor,NU) 「A Network analysis of plastic products manufacturing industry in Tsubamesanjo area」 Wonil LEE (Professor, HBNU) 「Local innovation system and Entrepreneurial University」の3名による発表があり、ここでは、両学の学者が共通の研究テーマを発見し、それを発展させる機会として期待され、共同研究に発展させることができると考えられました。

